

「学びのフェス 2025春」 プログラミング ワークショップ レポート

2025年3月26日(水)
会場:昭和女子大学1号館



新小学2、3年生24人が
カラーコードでプログラミング
に挑戦しました！



ワークショップの様子

カラーコードでプログラミングに挑戦！

毎日新聞社主催の「学びのフェス 2025春」に新小学2、3年生向けのワークショップを出展。24人の子ども達が色を読み取ることができるセンサー内蔵のトラックロボットを使い、3か所の配達先に荷物を届けるルートを作り出す「配達ミッション」に挑戦しました。

トラックロボットを思い通りに動かすために地図上に「右折・左折・直進・一時停止」4種類のカラーコードシールを貼り、動きをプログラミングします。トラックロボットは、そのプログラミングに従い配達先の「いちば」「ドーム」「こくぎかん」に荷物を届けます。



カラーコードシール
左から 右折・左折・直進・一時停止



カラーコードを地図に貼ってトラックに動きを指示

ルートをいっぱい考えることができたよ！

今回のワークショップは保護者の方も一緒に参加可能なワークショップ。参加していただいたお子さんと保護者の方にお話を伺いました。



「配達のルートを3つも考えることができたよ！」



「プログラミングをやったことがあるけど、今日のシールを貼るプログラミング、面白かった！」



「小さいロボットなのにカラーコードをきちんと読み取って正確に動いていて驚きました！」



親子で一緒にプログラミングに挑戦！

学生ボランティア2名が参加！

2名の学生ボランティアがお子さん達の活動をサポート。学生を代表し、浅島美希さんに活動の様子を聞きました。



生子 凜さん 浅島 美希さん

「学びのフェス」に初めて参加しました。今回のワークショップでは、参加されたお子さん達から学ぶ事が多くありました。講師役をしましたが、私がレクチャーした内容以上のことを実践してくれました。また、柔軟な発想力に触れることができ、とても楽しく、自分の中で視点が広がっていく感覚がありました。今回は教える側でしたが、驚きと学びの連続でした。素敵な機会に参加できたことを大変嬉しく感じます。ありがとうございました！（浅島 美希）